

ひとり1改革運動

「仕事の進め方を見直そう」改革賞

法人県民税・事業税の不申告法人の地区割分担及び分類化による事務の効率化

【浜松財務事務所 直税第1課】



不申告法人の数は、世界同時不況の影響を受けて、景気がかつてないスピードで後退したことにより、大幅に増加していました。

そこで、1人の兼務での対応から、9名での地区割担当制に変更するとともに、不申告への対応ノウハウを分類、パターン化して共有しました。

その結果、不慣れな職員でも必要な書類の作成や電話等の対応をスムーズに行えるようになり、不申告法人の比率も前年度から減少しました。

取組にあたって工夫した点は？

- ・地区割制の導入にあたっては、納税課の滞納整理地区分担表を参考にして、班員に割り振りました。また、滞納のある法人や、2期以上不申告となっている法人は班長の担当にしました。

取組の効果として実感していることは？

- ・不申告の理由を分類して、パターン化することで、法人を申告対象から外す書類の作成に要する時間を1件あたり50分から10分に短縮できました。
- ・対応ノウハウを標準化して共有することで、不慣れな職員でも不申告法人や関与税理士からの問合せにスムーズに対応できるようになるとともに、班全体の税知識をレベルアップすることができました。

1 破産手続開始

除番	号	法人登記除却決議書						
起案	平成 年 月 日	課長	田長	課	員	係	法人番号 法務番号	入力印
決裁	平成 年 月 日						99999999	
施行	平成 年 月 日						99999999	
所在地	浜松市中央区1			設立 設置	平成11年11月11日			
法人名	(株)浜松			資本金	10,000,000円			
代表者 氏名	浜松太郎			業種	製造販売			
調査 着手	送れい文書	送れい年月日	最終納付事業 年度又は滞納 事業年度	平成20年 4月 1日 から 平成21年 3月31日 まで				
除却を必要とする事実		(理由)		・転出・行方不明 準解散・その他				
調査 年月日	調査先	調査の 内 容						
22.4.1	信用情報	(破産手続開始決定) 平成22年1月11日午後1時静岡地方裁判所浜松支部の破産手続開始。 破産管財人：弁護士(浜松市中央区)						

【パターン化した書類の例】

静岡産業大学大坪学長から一言

仕事を分類して整理し、パターン化することで、処理のスピード化、学習の容易化ができるという良い事例です。対応ノウハウを標準化し、不慣れな職員でも対応できるようになった点を評価したいです。また、このような取組を全員で行い、税知識のレベルが向上したのも嬉しい効果と言えます。

ひとり1改革運動

「仕事の進め方を見直そう」改革賞

建設業界との連携による林業用作業道等の開設基準書の策定

【交通基盤部 森林整備課】



林業専用の作業道は、安全を確保した上で、より低コストで整備することが課題でした。

そこで、作業道は一般車両が通行しないことから、当初の測量設計業務を簡素化して、静岡県森林土木建設協議会の技術委員会と協働で策定した基準書をもとに、設計図を省略した標準断面により発注するようにしました。

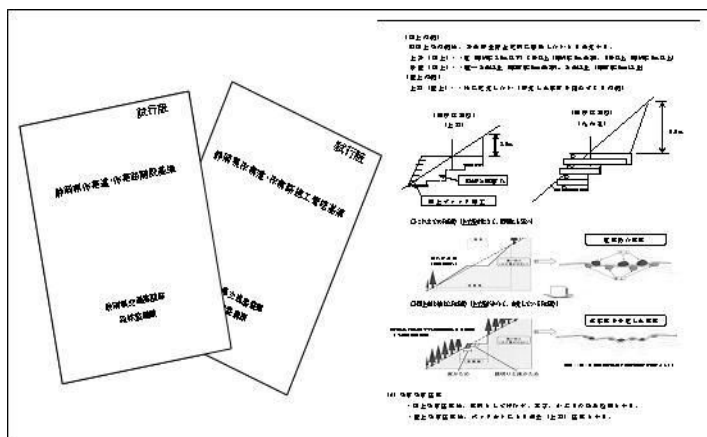
その結果、測量設計に要する費用(年間約2,600万円)や時間(同3,360分)を節減するとともに建設業者の施工管理事務も軽減することができました。

取組の効果として実感していることは？

- ・この基準書により、昨年度は県下7箇所では約6.5Kmの作業道を開設し、林業用の道路として安全に使用するには、支障のない出来栄えに仕上がりました。
- ・工事完成後に施工業者にアンケートを実施したところ、初めてだったので戸惑いもあったが、2回目以降は時間短縮が可能であり、今後も入札に応じたいとの前向きな結果でした。
- ・机上で策定した基準書が、現場に適用できたこと、課題も見えたことなど次に繋がる結果でした。

取組にあたって苦労した点は？

- ・発注者、施工者が最小の事務量で、必要な品質や規格が担保されるよう、双方が求める条件の調整に苦労しました。
- ・工事を担当する農林事務所の職員や施工者が現場で使いやすいよう図解を多く取り入れました。



【開設基準書(概念図)】

静岡大学日誌教授から一言

林業専用作業道の整備は、小規模ながら公共事業という性格を有し、民間への測量設計業務委託が当たり前のように行われてきました。しかし、今回の取り組みは、このような従来からの発想を大きく転換し、関係団体との連携のもとに作業用林道開設基準書を策定しました。これは、今後の公共事業のあり方に一石を投じるものであり、優れた改善の取り組みとして評価できます。

ひとり1改革運動

「仕事の進め方を見直そう」改革賞

歳計現金を無駄なく運用

【出納局 会計管理課】



県財政の状況が厳しい中、歳計現金の運用を改善し、少しでも多くの運用益をあげることが課題でした。

そこで、銀行への預入期間の関係でこれまで運用していなかった6日以内の短期資金について、安全性等の検討を重ねて、「買い現先取引※」として運用することにしました。

その結果、運用後1ヶ月で157,418円の運用益を上げるとともに、資金残高が平準化されて、より効率的な運用が可能になりました。

※買い現先取引

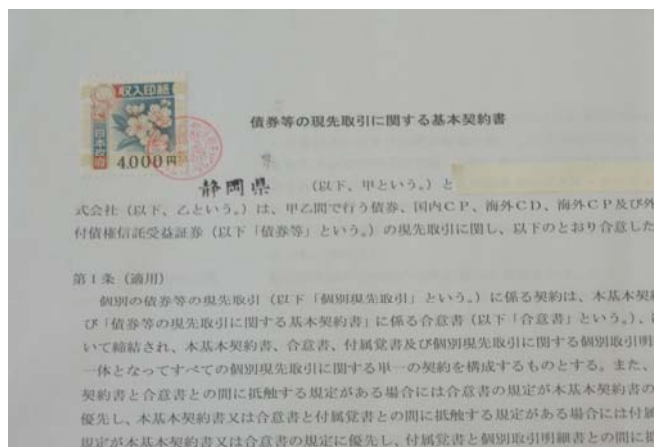
一定期間後に一定価格で売り戻すことを条件に債券を購入する方法。元本と利息は契約により保証。

取組にあたって留意した点は？

- ・歳計現金の運用は、安全確実が第一であるため、入札に参加する証券会社は一定基準を満たす会社に限定した上、条件を満たす各社と元本と利息を保証する契約を交わしました。

取組に関連してコメントがあればお願いします

- ・効率的な資金運用を行うためには、各所属から毎月報告してもらった収支見込額の正確性が求められますので、正確な資金計画の作成をお願いします。



静岡文化芸術大学片山准教授から一言

行政の持つ資源をたとえ短期間であっても無駄にせず有効に活かす取り組みをしたことは大きな意義があります。こうした資源の有効活用が「カネ」に限らず、「人」「モノ」「情報」等、すべてにおいて普及していく第一歩となることが期待されます。

ひとり1改革運動

「仕事の進め方を見直そう」改革賞

介護保険事業所指定申請に係る書類チェックリストの活用及び指定申請マニュアルの作成

【健康福祉部 介護指導課】



介護サービス事業所の指定は年間約800件行われていますが、申請書類の不備が非常に多く、書類の修正に膨大な時間や労力を要していました。

そこで、今年度、当該業務が健康福祉センターから本庁に集約されたことを機に、申請者自らチェックできるようにチェックリストを作成するとともに、指定申請マニュアルをホームページでも公開しました。

その結果、書類の不備が減少し、修正に要する時間が年間で約1,000時間節減できることが見込まれます。

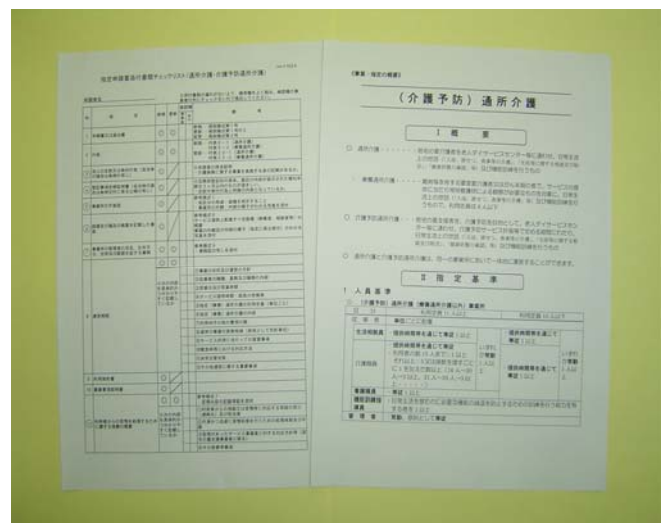
取組にあたって留意した点は？

・チェックリストの作成にあたっては、過去に不備の多かった書類の把握、チェックポイントの盛り込み方に留意しました。また、指定申請マニュアルでは、膨大な基準の中から、どの情報をどのような表現で正確に伝えるかに苦労しました。

取組の工夫した点は？

・チェックリストは、添付書類の種類だけでなく、書類ごとのチェックポイントまで明確化するとともに、申請者と県のチェック欄を設けて、双方がチェックできるようにしました。

・指定申請マニュアルは、初めての申請者でも容易にサービスの概要が理解できるよう、必要最小限の情報を表形式などで、分かりやすく表現しました。



【チェックリストと指定申請マニュアル】
（抜粋）

静岡文化芸術大学田中准教授から一言

書類申請手続きは、公平性や信頼性を担保する上で不可欠ですが、申請者と行政の双方に負担を強いるものです。本事例では、チェックリストの導入により、申請者と担当課の両方にとってメリットのある改革となっています。近年、福祉サービス分野において、幅広い民間事業者の参入が期待されている現状を踏まえると、このような取り組みは今後ますます重要になっていくでしょう。

ひとり1改革運動

「仕事の進め方を見直そう」改革賞

結核・接触者管理の効率化

【東部健康福祉センター 地域医療課】



管内の結核患者の接触者約700人の健康状況の管理を複数の保健師で分担して行っていたが、担当外の状況が分からないため、接触者や医療機関への対応に時間がかかっていました。

そこで、接触者の情報をSDOで共有するとともに、カルテを個人管理から共同管理とし、さらにカルテの管理項目も統一しました。

その結果、対応に要する時間が1件当たり約19分短縮するとともに、年間では約5,550分の時間を節約することができました。

取組にあたって工夫した点は？

- ・民間で用いられているQC手法を導入して、仕事の流れをフロー図で把握し、どこに問題があるか図や表で掘り下げながらピックアップしました。その結果、問題点が明確になるとともに、具体的な目標を立てて、対策立案がスムーズに行うことができました。

今後に向けてさらなる取組は？

- ・今回は、結核・接触者管理の効率化を目的に取組を行いましたが、議論の中で、接触者管理以外の問題点も浮上してきたため、それらにも積極的に対応して、さらなる業務改善をねらいます。



【改善に向けた話し合いの風景】

静岡産業大学松本准教授から一言

この取組は静岡「発」モデルとも言うべき好例と言えるでしょう。QC手法の導入と活用による問題点の把握そして的確な対策の実施、と「現場力」の高さは素晴らしいです。